

2021年9月2日(木)

織研新聞

2面

新社長

メガスポーツ 中嶋築人氏

メガスポーツは9月1日に開催した臨時株主総会及び取締役会の決議を経て、中嶋築人顧問が代表取締役社長に就いた。

中嶋 築人氏(なかしま・つきひと) 98年9月マッキンゼー・アンド・カンパニー入社、07年アリックスパートナーズバイスプレジデント、08年セシル専務執行役兼CMO、09年モバコレ代表取締役社長、11年ファッション・コ・ラボ代表取締役社長、15年ワールド執行役員兼デジタルプラットフォーム本部長、17年ファステック・アンド・ソリューションズ代表取締役社長、18年ワールドグループ上級執行役員、21年7月メガスポーツ顧問。45歳。

2021年9月3日(金)

織研新聞

2面

ニュースの顔



マッキンゼー・アンド・カンパニーなどを経て、11年からワールドグループに移り、ファッション業界における生産から販売までのデジタルソリューションシステムの開発・提供などに尽力してきた。ファッション・コ・ラボの社長時代には、買収したECモールのファッションウオーカーを黒字転換させた。「リストラ型ではなく、事業開発型の立て直しが得意」と自認する。

スポーツ業界に転じたのは、自身がスポーツによって人生が変わった経験があるため。30代半ばまでは太り気味で、「ストレスがたまると暴飲暴食を繰り返し、感情もコントロールできなかった」。しかし、食生活を改善し、ランニングと筋トレを始めたことで、引き締まった身体を獲得。するとメンタルが変わり、仕事のチームもうまく回るようになった。「スポーツはウェルネスな人生を歩めるトリガーとなり得る。スポーツの素晴らしさを多くの人に広めたい」と語気を強める。

メガスポーツ社長に就任した 中嶋築人さん

7月21日付で顧問となり、社長就任前に社内のキーパーソンへの面談や経営数値の検証などは既に済ませた。当面のテーマは、今後の成長を見据えた「選択と集中」だ。「負け戦を早くやめ、勝ち戦できるところに戦力を投入する。黒字にならない店舗から、浮上するかもしれない店舗に優先的に人・カネ・モノを回し、勝ち続けている店舗のノウハウも注入し、勝たせられるようにしたい」

75年生まれ。月に100〜120キロ走り、スパルタンレースに出場することもある。

(潤)